

**第 4 期中期目標期間
(平成30年度～令和 4 年度)
実績評価説明資料
(職業能力開発業務等)**



目次

事業体系・自己評定（案）一覧	P 1
1-4-1 離職者を対象とする職業訓練の実施	P 2
1-4-2 高度技能者養成のための職業訓練の実施	P 7
1-4-3 在職者を対象とする職業訓練及び 事業主等との連携・支援の実施	P 12
1-4-4 職業訓練指導員の養成、 職業訓練コースの開発、国際協力の推進等	P 18
1-6 求職者支援制度に係る職業訓練の認定業務等	P 22

評価項目No. 1-6 求職者支援制度に係る職業訓練の認定業務等

自己評価 B

(過去の主務大臣評価 H30年度：B、R1年度：B、R2年度：B、R3年度：B)

I 中期目標の内容

定量指標なし

II 指標の達成状況

定量指標なし

III 評定の根拠

根 拠	理 由
認定職業訓練の的確な審査に係る取組	求職者支援制度に係る職業訓練の認定にあたっては、就職に資する訓練内容となっているかの確に審査を行った。 また、民間教育訓練機関等の申請を促進するため、説明会等を通じた制度改正（eラーニングコースの新設、デジタル系訓練コース奨励金の特例措置等）等の周知・広報の実施に加え、新たな雇用・訓練パッケージ等の新規施策に係るモデルカリキュラムを開発するなど、機動的な対応を図った。
実施状況確認の実施等に係る取組	実施されたすべての訓練コースに対し、定期的（月1回）に実施状況確認を行うことにより、不正防止と指導・助言による訓練の質の向上に努めた。 また、訓練実施機関が抱える課題を把握し、訓練の質向上を目的とした求職者支援訓練サポート講習を全都道府県で実施した。
	実施状況確認時に併せて新型コロナウイルス感染症対策の取組み状況を確認し、新型コロナウイルス感染症対策に苦慮している訓練実施機関に対して、他の訓練実施機関や機構における感染症対策を情報共有することで、より安全な訓練運営となるよう助言を実施した。

参考指標

--	--

参考事項

○職業訓練の審査・認定

主な取組内容①

◆ 認定職業訓練の的確な審査

	H30	R1	R2	R3	R4
審査コース数	3,669 コース	3,177 コース	3,010 コース	3,608 コース	3,733 コース
審査定員	59,042人	50,815人	47,553人	58,170人	62,442人



	H30	R1	R2	R3	R4
認定コース数	3,225 コース	2,881 コース	2,862 コース	3,508 コース	3,626 コース
認定定員	51,336人	45,489人	44,921人	56,609人	61,251人

訓練カリキュラムの作成支援・助言

- 訓練カリキュラム及び職業能力証明シートを盛り込んだ**カリキュラム作成ナビ**をホームページや相談の機会を通じて民間教育訓練機関等に提供し、訓練カリキュラム等の**円滑な作成を支援**
- デジタル分野の認定促進に資する**訓練カリキュラム6コースを追加作成**（うち5コースは短期・短時間特例訓練コース） **R3**
- 営業・販売・事務分野を実施している機関に対して、ITの要素を追加したカリキュラム変更の提案やデジタル系コースの応募状況が好調であることを他分野を実施している訓練実施機関に情報提供を実施 **R4**

新たな雇用・訓練パッケージへの対応 **R2~**

- 新型コロナウイルスの影響によりシフトが減少した方等が、働きながら受講しやすい**短期・短時間特例コース**の実施に向け**カリキュラム14コースを開発**、広報用リーフレットを作成

新型コロナウイルス感染症対策 **コロナ**

- 感染症拡大防止に向けた確認リストの配付、具体的な**感染予防策**の情報提供を実施
- オンライン訓練**に対応するため訓練実施方法の見直しに向けて協議

○実施状況確認の実施及びノウハウの提供

主な取組内容②

◆ 実施状況確認の実施等

- 認定した訓練について実地による訓練実施状況の確認を行い、**訓練実施機関への指導・助言を実施**

	H30	R1	R2	R3	R4
実施状況確認件数 (巡回指導)	10,495件	9,175件	8,893件	10,086件	11,745件
開講コース数(参考)	2,557コース	2,263コース	2,300コース	2,791コース	3,256コース

【主な確認内容】

- ・認定内容に基づき、適切に訓練が実施されているか
- ・受講者に対するアンケート結果に対し、適切に対応しているか
- ・就職支援の実施体制が整備され、適切な就職支援が実施されているか
- ・実施状況確認時に併せて**新型コロナウイルス感染症対策の取組み状況を確認** **コロナ**
また、その取組状況を訓練実施機関の訓練説明会や施設見学会等で周知するよう指導・助言
・**訓練実施機関が抱える課題はないか** など

- 訓練実施機関が抱える課題を把握し、**訓練の質向上を目的とした求職者支援訓練サポート講習**を機構による創意工夫の取組として全都道府県で実施

実施状況確認における指導・助言の事例

- 新型コロナウイルス感染症対策に苦慮している訓練実施機関に対して、他の訓練実施機関や機構における感染症対策を情報共有することで、より安全な訓練運営となるよう助言した。 **コロナ**
- 訓練実施機関から「就職活動にあまり積極的ではない受講生がいるが、どうしたらよいか。」との相談があったことから、日々の朝礼などの機会を通して、就職の意義や就職活動の重要性などを受講者にしっかりと伝えるよう助言した。